

令和8年1月30日
健康福祉部疾病対策課
043-223-2574

麻しん（はしか）患者の発生について

習志野市在住の30代の男性が、令和8年1月26日に麻しんと診断され、医療機関から松戸保健所に麻しんの発生届の提出がありました。

当該患者の疫学調査を行った結果、他の人に麻しんを感染させてしまう可能性がある期間（感染可能期間）に、不特定多数の方が利用する公共交通機関等を利用していたことが判明しました。

同じ時間帯に利用された方で、利用後10日前後経ってから、発熱や発しん等、麻しんを疑うような症状が現れた場合は、事前に最寄りの保健所に電話連絡し、指示に従い、医療機関を受診してください。

また、受診の際は、周囲への感染を広げないよう、公共交通機関等の利用を避けてください。

1 感染可能期間中に患者が利用した交通機関等について

感染可能期間（発症日前日の令和8年1月15日以降）に患者が利用した交通機関等は別紙のとおりです。

- ※ 鉄道会社等へのお問合せは、御遠慮くださいますようお願いします。
- ※ 現時点において、別紙の交通機関等を利用して感染の恐れはありません。
- ※ 接触者が特定できておらず、不特定多数の接触者がいる可能性がある施設等については、広く情報提供するため、施設等の名称を公表しています。

2 患者の概要

- (1) 基本情報：30代・男性、習志野市在住 麻しん予防接種歴：なし
- (2) 症状：発熱、咳、結膜充血、眼脂、コプリック斑、発疹、消化器症状
- (3) 経過等

日付	患者発生の経過等
令和8年1月16日	発症（寒気、倦怠感、水様便等）
1月20日	発熱（38.5℃まで上昇）、頭痛、咳等が出現 船橋市内の医療機関Aを受診後、同市内の薬局Bを利用
1月21日	発疹出現
1月23日	習志野市内の医療機関Cを受診
1月24日	松戸市内の医療機関Dを受診 同日入院
1月26日	医療機関Dにて麻しんの診断、届出 検体（尿、咽頭ぬぐい液、血液）採取 県衛生研究所へ検体を搬送
1月27日	県衛生研究所の遺伝子検査の結果、陽性
1月29日	症状が改善し、医療機関Dを退院

別紙 感染可能期間中に患者が利用した施設等について

利用日時	利用した交通手段や施設など
令和8年1月15日(木)	
①午前11時50分頃～午後0時頃	①JR京葉線 新習志野駅-舞浜駅
②午後10時50分頃～午後11時10分頃	②JR京葉線 舞浜駅-新習志野駅
令和8年1月17日(土)	
①午前5時40分頃～午前6時頃	①JR京葉線 新習志野駅-舞浜駅
②午後3時20分頃～午後3時40分頃	②JR京葉線 舞浜駅-新習志野駅
令和8年1月18日(日)	
①午前5時40分頃～午前6時頃	①JR京葉線 新習志野駅-舞浜駅
②午後3時20分頃～午後3時40分頃	②JR京葉線 舞浜駅-新習志野駅
令和8年1月19日(月)	
①午前11時50分頃～午後0時10分頃	①JR京葉線 新習志野駅-舞浜駅
②午後11時20分頃～午後11時40分頃	②JR京葉線 舞浜駅-新習志野駅
令和8年1月20日(火)	
①午前11時50分頃～午後0時30分頃	①JR京葉線 新習志野駅-東京駅
②午後5時頃～午後5時30分頃	②JR京葉線 東京駅-新習志野駅-南船橋駅
③午後6時20分頃	③JR京葉線 南船橋駅-新習志野駅
令和8年1月22日(木)	
①午後0時40分頃～午後1時頃	①JR京葉線 新習志野駅-舞浜駅
②午後10時50分頃～午後11時10分頃	②JR京葉線 舞浜駅-新習志野駅

※行動歴調査等から、特定された接触者については個別に対応を行っています。

■ 県民のみなさまへ

- ・ 麻しんの感染力は非常に強く、感染した場合、更に多くの感染者が発生するなど社会的影響が大きい感染症です。
- ・ 同じ時間帯に利用された方で、利用後 21 日以内（特に 10 日前後）に発熱や発しん等、麻しんを疑うような症状が現れた場合は、事前に最寄りの保健所に電話連絡し、指示に従い、医療機関を受診してください。
- ・ 受診の際は、周囲への感染を広げないよう、公共交通機関等の利用を避けるようにしてください。
- ・ 海外では、東南アジア、中東、アメリカ、アフリカ等の地域で麻しんが流行しています。事前に渡航先での流行状況や感染症情報をよく確認してください。 海外旅行等で流行地へ渡航される場合は、ご自身の過去の罹患歴や予防接種歴を確認していただき、必要な検査や事前に予防接種を受けていただくことをご検討ください。また、海外への渡航がない場合でも、麻しんの定期予防接種（第 1 期：1 歳児、第 2 期：小学校就学前の 1 年間）をまだ受けていない方は、早めに予防接種を受けましょう。

■ 医療機関のみなさまへ

- ・ 麻しんの感染者が県内や全国で多数報告されています。 麻しんを疑う患者が受診した場合は、予防接種歴の確認や院内感染対策の実施など、麻しんを意識した診療を行うとともに、届出に必要な要件を満たすと診断した場合は、速やかに最寄りの保健所に届出をお願いします。

(参考)

- ・ 厚生労働省 麻しんについて
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekka_kansenshou/measles/index.html
- ・ 厚生労働省検疫所（FORTH） 海外渡航者向け情報
<https://www.forth.go.jp/travel/index.html>
- ・ 政府広報オンライン 海外旅行を安全・健康に楽しむために必要な準備と知識
<https://www.gov-online.go.jp/article/202412/entry-6907.html>
- ・ 国立健康危機管理研究機構 麻疹 発生動向調査
<https://id-info.jihs.go.jp/relevant/vaccine/measles/060/measlesdoko.html>
- ・ 千葉県 麻しん（はしか）にご注意!
<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/mashin.html>
- ・ 千葉県感染症情報センターホームページ
<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/>

【参考】

麻しん（はしか）について

1 症状

- ・ 感染すると通常 10 日から 12 日後に 38°C 前後の発熱、咳、鼻汁、くしゃみ、結膜充血などが約 2 日から 4 日間続き、解熱後、再び 39°C 以上の高熱と発しんが出現します。
- ・ 肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者 1,000 人に 1 人の割合で脳炎が発症すると言われており、死亡する割合も、先進国であっても 1,000 人に 1 人と言われています。

2 感染経路

- ・ 麻しんは麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症です。
- ・ 麻しんウイルスの主たる感染経路は空気感染で、その感染力は非常に強く、免疫を持つていない人が感染するとほぼ 100% 発症すると言われています。
- ・ また、発症した人が周囲に感染させる期間（感染可能期間）は、症状が出現する 1 日前から解熱後 3 日間まで（全経過を通じて発熱がみられなかった場合、発しん出現後 5 日間まで）といわれています。

3 潜伏期間

約 10 日～12 日間（最長 21 日間程度になる場合もあります。）

4 治療

特異的な根治療法はなく、対症療法を行う

5 予防

- ・ 麻しんは感染力が強く、空気感染もするので、手洗い、マスクのみで予防はできません。
- ・ 麻しんの予防には予防接種が最も有効です。2 回の定期接種を必ず受けましょう。
- ・ 麻しんを発症した場合、学校や職場等で感染を拡大させる恐れがあるため、母子手帳などで予防接種歴を確認し、定期予防接種を 2 回受けていない方や予防接種歴が不明な方は、かかりつけ医などに相談の上、接種を検討しましょう。

6 県内の発生状況（麻しん届出数）

年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
千葉県	3	26	26	0	0	0	1	1	22	2*
全国	186	279	744	10	6	6	28	45	265	4*

*千葉県の 2026 年は 1 月 29 日までの届出数

*全国の 2026 年は国の感染症発生動向調査第 3 週（1 月 12 日～1 月 18 日）までの速報値